

HOSAKA



Psycho-Oncology Clinic

がんを前向きに
乗り越える

がん患者さんと家族のための 心のケア専門クリニック

保坂サイコオンコロジー クリニック

* 完全予約制

事前にお問い合わせをお願いします

☎ (03) 6264-1791

診療時間

月 火 水 木 金 土

9-12時	○	○	○	○	○	○
13-16時	×	○	○	○	○	×

* 休診 * 日・祝日

住所 〒104-0044
東京都中央区明石町11-3
築地アサカビル6階A号室

Fax (03) 6264-1792

Email info@psycho-oncology-clinic.com

HP http://psycho-oncology-clinic.com

Access Map



- ・聖路加国際大学前
- ・東京メトロ 日比谷線 築地駅 (3,4番出口) 徒歩4分
[エレベーターは2番出口にあります]
- ・東京メトロ 有楽町線 新富町駅 (6番出口) 徒歩6分
[エレベーターは1番出口にあります]

サイコオンコロジーってなに？

「サイコオンコロジー」は「サイコ=心」と「オンコロジー=腫瘍学」を一緒にした造語です。日本では精神腫瘍科とか腫瘍精神科と訳されます。この言葉が作られたのは、1970年代で、この時期にがんに対する心構えや心の状態が、その後のがんの経過にも影響を与えることがわかり始めました。以後、心とがんの双方向性の関係を扱う研究が増え、たとえば、うつ病を合併したがん患者さんの場合には、病気の進行が速くなるということもわかってきました。

このことから、がん患者さんの心のケアで一番大切なことは、うつ病が合併しているかを的確に評価し、もしうつ病が合併していたら適切に治すことになるわけです。それ以外にも、不眠や緊張や不安なども免疫機能を低下させますので、適切な対応が必要となります。ほとんどの病気の場合にもいえますが、とくにがんは、心と体の両面からのアプローチが必要になるのです。

* 診療対象 *

当クリニックでは次のような患者さんやご家族の方を診療しています。

- がんの告知を受けてショックを受けている患者さん
- 家族ががんになり、患者さん本人の前では泣けないご家族
- 今後のことでネガティブ思考がぐるぐる回り続けているがん患者さん
- ホルモン療法中にうつっぽくなった乳がん患者さん
- 朝からメソメソ泣いているがん患者さん
- がんが転移または進行して絶望的になっている患者さんとその家族
- 最愛のご家族をがんで亡くされて絶望的になっているご遺族の方

* 診療方法 *

- 個人カウンセリング
- 夫婦療法 (ご夫婦を対象にしたカウンセリング)
- 家族療法 (3人以上、あるいは子供さんを加えたカウンセリング)
- グループ療法 (乳がん患者さん数名を対象としたカウンセリング)
- 薬物療法 ● 運動療法 ● マインドフルネス瞑想 など

医師紹介 保坂 隆 Takashi Hosaka, M.D. 保坂サイコオンコロジークリニック院長

昭和 52年 3月 慶応義塾大学医学部卒業
 平成 22年 8月～平成 4年 3月 カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)精神科留学
 平成 15年 4月 東海大学医学部精神科学教授
 平成 22年 4月 聖路加国際病院非常勤嘱託・東海大学医学部非常勤教授・京都府立医大客員教授・聖路加看護大学臨床教授
 平成 22年 11月 聖路加国際病院 精神腫瘍科 医長
 平成 25年 12月 聖路加国際病院 精神腫瘍科 部長 (平成 24年 4月～平成 26年 9月)
 高野山大学大学院通信制密着学卒(卒業) 平成 26年 4月 聖路加国際病院リエゾンセンター長、同精神腫瘍科部長
 聖路加国際大学臨床教授、京都府立医大客員教授、東京医科歯科大学医学部非常勤講師
 平成 29年 7月 聖路加国際病院定年退職、聖路加国際病院診療教育アドバイザー
 昭和 大学医学部客員教授
 平成 29年 8月 保坂サイコオンコロジー・クリニック院長 ～ 現在

